



[県政タウンミーティング]

みんなで考えよう
合併後のまちづくり

11月14日、対馬市公会堂で、2回目となる県政タウンミーティングを開きました。金子知事、松村良幸対馬市長、片岡力長崎国際大学教授、女優の黒田福美さんの他、市民代表が登壇。黒田さんは、ドラマや映画のロケ誘致などを提案し、金子知事も「恵まれた自然を活かせば、交流人口を増やすことができる」と市民の皆さんを激励しました。

また、11月27日には、新上五島町でも開催し、金子知事、井上俊昭新上五島町長、平山祐次県立大学長の他、地域活動のリーダーが登壇しました。会場となった新上五島町石油備蓄記念会館には1,200人を超える町民の皆さんが出で、体験型観光の取り組みなどについて意見が出されました。

[スカイネットアジア航空、
長崎-東京線就航へ]新しい翼が
長崎と羽田を結びます

12月1日、スカイネットアジア航空株式会社(SNA)が、長崎-東京(羽田)線開設のため、国土交通省に羽田空港発着枠(新規優遇枠)の使用を届け出ました。

平成14年に宮崎-羽田線、平成15年に熊本-羽田線に就航しているSNAにとって、長崎-羽田線は第3番目の路線となります。

7月1日から、定員170人の旅客機で1日6往復(12便)の運航が予定されており、長崎空港の利用客の増加や、地域経済の活性化が期待されます。

[第47回自然公園大会
長崎県実行委員会設立総会]豊かな自然を
次の世代へ引き継ぐために

11月26日、長崎市内のホテルで第47回自然公園大会長崎県実行委員会の設立総会が行われました。

自然公園大会は、国立公園や国定公園内を会場に、毎年「自然と親しむ運動」の中心行事として開催されている全国大会です。第47回大会は、今年8月3日と4日に佐世保市で開催されますが、本県での開催は、昭和46年に雲仙で行われた第13回大会に続き2回目となります。

会議では、実行委員会の会則などが承認され、会長である金子知事は、より良い大会をめざして、関係機関の協力を呼びかけました。

[県民表彰式]

栄えあるご受賞、
おめでとうございます

11月23日、消防・防災、地方自治、社会福祉、産業、教育文化、スポーツや芸術などの様々な分野で功績のあった個人や団体を讃える県民表彰式が、県議会議場で行われました。

今年の受賞者は、個人124人と19団体。金子知事が一人ひとりに表彰状と記念品を手渡しました。

そして、「皆様の功績と努力に敬意を表し、感謝を申し上げます。皆さまの豊かな識見と貴重な経験は、新しい時代をめざす県民の指針になります。今後も県民の模範、地域のリーダーとして活躍してください」と称賛の言葉を贈りました。



[長崎県欧州美術館調査訪問団]

プラド美術館との交流の基礎づくり

10月29日から11月5日の日程で、金子知事を団長とする「長崎県欧州美術館調査訪問団」が派遣されました。

これは、今年4月にオープンする長崎県美術館の運営の参考とするため、美術館のあり方や機能、運営を学ぶことを目的に、フランス・パリとスペイン・マドリッドの主要な美術館を訪れたものです。

11月3日、世界3大美術館のひとつといわれるスペイン国立プラド美術館を訪れた金子知事は、ロドリゴ・ウリア運営評議会理事長らと会談。「将来にわたり両美術館の友好関係を築いていく」ことを内容とする覚書を交わしました。

これは、スペイン美術を柱とする長崎県美術館にとって大きな成果であり、今後、美術作品の研究、修復、保存、人材の交流などについて、プラド美術館との協力関係を進め、質の高い美術館づくりをめざします。



[北松やまびこロード全線開通]

北松地域の経済活性化に
大きな期待

11月22日、田平町と世知原町を結ぶ県の広域農道(愛称:北松やまびこロード)のうち、松浦市と世知原町を結ぶ南部区間(8.7km)が開通しました。

田平町と江迎町を結ぶ北部区間(7.0km)は、平成14年度に開通しており、また、江迎町と松浦市は、すでに県道で結ばれています。今回の南部区間の開通によって、北松地域を横断する基幹農道が全線開通したことになります。

これによって、平戸市や生月町を含む北松地域で生産される農産物の輸送時間が短縮されるだけでなく、都市部へのアクセスも良くなり、地域経済の活性化につながることが期待されています。

[第1回長崎県子ども伝統芸能大会]

子どもたちが
明日へ受け継ぐ伝統芸能

11月21日、長崎市の長崎市民会館文化ホールで、長崎県子ども伝統芸能大会が開かれました。

これは、子どもたちを取り巻く環境が大きく様変わりして、郷土の伝統芸能に直接触れる機会が少なくなっていることから、伝統芸能を取り組む子どもたちの発表の場をつくり、継承活動を活発にしようと開かれたものです。

初の大会となった今回は、みんかけ保存会(新上五島町)、江迎獅子舞太鼓(江迎町)、山中浮立保存会(波佐見町)、千綿中学校人形淨瑠璃クラブ(東彼杵町)、滑石竜踊保存会子供竜踊(長崎市)の5団体などが出演し、各地に伝わる郷土芸能を披露しました。

[彩の国まごころ国体終わる]

長崎県選手団が大躍進!

11月16日、第59回国民体育大会(彩の国まごころ国体)に出場した長崎県選手団の解団式が、長崎市内のホテルで行われました。

同国体では、九州文化園高校女子バレーボール部がバレーボール少年女子で優勝。見事「春の高校バレー」「インターハイ」「国体」の全国高校3冠を達成しました。

そのほか、本県選手団はハンドボール少年男子をはじめとする各競技でも多くの優勝や入賞を果たし、冬季、夏季、秋季大会を合わせた天皇杯(総合得点)では、昨年の25位から、昭和45年以来の10位台となる16位へと大きく躍進しました。